

事前評価個表

整理番号	50
------	----

地域（地区）名	<small>みや・しょうかわ</small> 宮・庄川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	高山市ほか2市村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>宮・庄川森林計画区(以下「計画区」という。)は、岐阜県の北部に位置し、高山市、飛騨市、白川村の2市1村から構成されている。四方を山に囲まれており、東の飛騨山脈と、西の白山地の間には、富山湾に流れる神通川と庄川が流れ、その2つの河川にはさまれた山岳地帯は飛騨山地(高原(=高地))と呼ばれる標高1,000~1,500mの山地からなっている。</p> <p>森林面積は、計画区の総土地面積332.7千haの93%に当たる308.3千haで、全県下森林面積の36%を占めている。このうち、国有林が117.8千haで38%、民有林が190.5千haで62%を占めている。</p> <p>計画区の人工林はスギが45%、ヒノキが40%となっており、県全体(スギ：35%、ヒノキ：57%)と比較するとスギの割合が高い。また、天然林の割合(62%)が県全体(52%)に比べて高いのが特徴である。</p> <p>現在の森林・林業を取り巻く情勢は、木材自給率及び材価の低迷、林業従事者の高齢化等、厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で、森林が本来持つ国土保全、水源かん養等の公益的機能を十分に発揮できていない。また、人工林は、9歳級をピークに4~10歳級が大部分を占めており、適期の保育が求められている。</p> <p>このような状況を踏まえ、本計画区では森林の整備にあたって、宮・庄川地域森林計画で定める方針を基本として、多面的機能を発揮する森林整備を推進することとする。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：15,009ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：5,087,000千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.16 (総便益(B) = 34,981,447千円、総費用(C) = 6,778,302千円)</p>
評価結果	<p>必要性：対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐を中心とした森林施業を効率的に推進することにより、優良材の安定的な生産に繋がりを、また森林の持つ公益的機能がより高度に発揮されることになり、有効性は高い。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

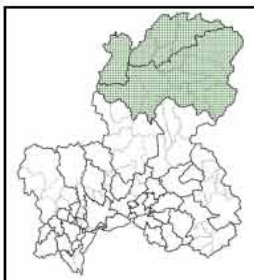
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 宮・庄川

岐阜県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	7,861,315	
	流域貯水便益	3,252,273	
	水質浄化便益	5,552,277	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,690,098	
	土砂崩壊防止便益	160,806	
環境保全便益	炭素固定便益	4,653,153	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	4,811,525	
総 便 益 (B)		34,981,447	
総 費 用 (C)		6,778,302	
費用便益比	$B \div C = \frac{34,981,447}{6,778,302} = 5.16$		

森林環境保全整備事業 宮・庄川地域(岐阜県)概要図



- 宮庄川計画区
- 事業区域
- 市町村界
- 旧市町村界
- 高速道路
- 国道
- 河川
- 整備箇所

